

秋の芸術祭2020における新型コロナウイルス感染予防・対策ガイドライン

1. はじめに ～今だから出来ることをやろう～

東京表現高等学院MIICAは、新型コロナウイルスの感染が日本国内において広がり始めた当初から、生徒の登校自粛・オンライン授業の実施・分散登校など、感染拡大防止への取り組みを講じてまいりました。現在も世情や政府ならびに関係機関の最新情報に基づく見直しを都度行いつつ、学校運営を行っております。

こうした状況や情報を慎重に検討して参りました結果、2020年9月19・20日の両日におきまして秋の芸術祭を開催する運びといたしました。通例ですと校舎内施設をフル活用した展示・パフォーマンス・物販などを生徒たちが自ら企画制作・運営し、保護者や関係者ならびに当校を目指す中学生やその保護者など多くの一般来場者の皆様方と一緒に、熱量に溢れたアウトプットの場を創出してまいりましたが、今回は「大きな声を出す」「観客が密集する」「地域をまたぐ移動が発生しやすい」等の、感染予防・感染拡大防止の観点から注意すべき要素・リスクを回避した形での開催という、文字通り二律背反するコンセプトをどのように表現するかが重要なテーマとなります。

つきましては本ガイドラインを定め、当校教職員一同、生徒ならびに保護者の皆さま、芸術祭来場者とその他関係者への意識啓発に努め、感染予防・感染拡大防止のために出来る限り慎重かつ周到な準備と対策をもって臨んでまいりたいと思います。

なお本ガイドラインの策定につきましては、以下をはじめとする提言・ガイドラインを参考とさせていただきます。

- ・「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」
日本政府（令和2年3月28日発表、令和2年5月21日変更）
- ・「無観客公演関係ガイドライン」
一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 | 一般社団法人日本音楽事業者協会 | 一般社団法人日本音楽制作者連盟（令和2年5月25日策定）
- ・「音楽コンサートにおける新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」
一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 | 一般社団法人日本音楽事業者協会 | 一般社団法人日本音楽制作者連盟（令和2年7月10日策定）
- ・「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」
文部科学省(令和2年8月6日通達 Ver.3)
- ・「舞台芸術公演における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」
緊急事態舞台芸術ネットワーク（令和2年6月30日策定）

2. 感染予防・感染拡大防止のための基本的考え方

9月1日から始まる芸術祭準備のための事前打ち合わせやスタジオ・ホールでのリハーサル、コンテンツ制作や展示準備等の過程も含め、芸術祭に携わるすべてのスタッフ（以下「芸祭関係者」といいます）は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため最大限の対策を講じなければなりません。また、学校外での生活においても、同様に適切な感染予防対策を講じなければなりません。

特に、①密閉空間（換気の悪い密閉空間である）、②密集場所（多くの人々が密集している）、③密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）という3つの条件（いわゆる「三つの密」）のある場所は、感染を拡大させるリスク、すなわち「接触感染」と「飛沫感染」を誘発する機会が高いと考えられます。本ガイドラインは、これを避けることで、自己への感染を回避するとともに、他人に感染させないように徹底することを旨としています。

上記に基づき（1）来場者及び芸祭関係者に周知し、共有すべき「基本行動ルール」を、芸術祭会場となる学校においては（2）の会場における基本的対応を行う必要があります。

（1）来場されるお客さま、芸祭関係者にて共有すべき「基本行動ルール」：

- ▶基本的感染対策：接触感染・飛沫感染・マイクロ飛沫感染への対策
 - ・身体的距離の確保（2メートルを目安に最低1メートル）、正対しない
 - ・接触機会を減らす
 - ・マスク着用・大声を出さない（公演中の歓声、声援も含む）
 - ・咳エチケットの徹底
 - ・手洗い・手指消毒の励行
 - ・「三つの密」の回避（密閉・密集・密接）
 - ・日常健康管理（体温測定、健康状態チェック）

（2）芸祭会場（学校）における「基本的対応」：

- ・原則、マスク着用及びこまめな手指消毒を義務化（フェイスシールドとの併用等は状況ごとに適宜検討）します。
- ・会場内、会場周辺では、出演者を含む公演関係者、来場されるお客さまを問わず、人と人との確保すべき間隔を最低1メートルとします。
 - ※入退場時、トイレなどの待機列、ロビー等における滞留、設営・撤去時の密集など一切を対象とします。
- ・会場内では上記（1）「基本行動ルール」に基づき、場内外アナウンスやボードの掲出によりその周知徹底を図ります。
- ・来場されるお客さまには上記基本事項とともに「主催者の指示に従わない場合には退場していただく等の措置をとる」ことを事前に告知します。
 - ※会場では、公演中はもちろん、公演前後・休憩時間においても場内整理をおこなうと同時に生徒・教職員間でも注意喚起し、来場されるお客さまに上記対策の徹底を図ります。
- ・接触機会を避けるため、現金の収受は行わず、キャッシュレス決済を導入します。

3. 芸祭関係者（生徒・教職員・その他関係者）の遵守すべきガイドライン

<感染対策、身体的距離の確保>

- ▶毎朝の検温を義務づけます。37.5度以上の高熱や味覚異常など感染が疑われる者は症状が明らかになった段階で登校・業務を中止し、速やかに保健所への連絡等措置を取ること。
- ▶困難な場合を除き、マスクの着用を必須とし、手洗いを徹底します。出演者の出演時等、マスクの着用ができない場合は、パーテーション、フェイスシールド等、身体的距離を確保することと同等の効果を有する措置を講じます。
- ▶来場客等の不特定多数と接するスタッフについては原則、マスク及びフェイスシールドを着用させることとします。
- ▶来場を、3部完全入替制とし、間に校内の消毒を行います。
- ▶新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」のインストールを必須とします。
- ▶準備期間、開催日、撤収日のすべてについて、芸祭関係者の人数を最小限にすべく、作業工程の見直し等を常におこないます。また、各日程において必要不可欠とはいえない者の会場への立ち入り・居残りを禁じます。

<消毒、換気>

- ▶会場各所に手指消毒剤を設置し、手指消毒を奨励します。
- ▶会場各所で常時換気を行い、ドアノブや椅子等、手が触れる場所は定期的に消毒を行います。
- ▶機材や備品、用具等の取扱い者をあらかじめ選定し、不特定者の共有を制限します。
- ▶準備、本番、撤収すべての期間、全員下校前に、芸祭関係者は会場全体の消毒作業を行います。

<食事や休憩時の注意>

- ▶食事・休憩の際も、身体的距離の確保に努めます。物理的に身体的距離を確保することができない場合は、時間をずらす、パーテーションを設置する等を行い、食事中の会話は控えます。会話は食事が終了したのち、マスクを着用してから行います。

<MIICAホールにおける感染防止策>

- ▶MIICAホールステージ上の同時出演人数は5名までとし、身体的距離を確保するか、パーテーション、フェイスシールド等、身体的距離を確保することと同等の効果を有する措置を講じます。
- ▶ステージ使用演目の際、演者・スタッフと観客間の十分な距離確保のため、客席最前1列ならびに最後1列を使用不可とし、また客席の間隔を1席ずつ空けて、観客席数を30席をとします。
- ▶ホールの観客入退場は密集・密接を回避することを最重要点とし、あらかじめ座席指定をおこなう、整理入退場をアナウンスする等の対策を講じます。
- ▶ステージで行う演劇やパフォーマンス等については、実演と実演の間に十分な時間的間隔を取り、出演者同士の入退場や転換スタッフ同士の交錯による密集・密接が起これぬようタイムスケジュールや段取りを工夫します。
- ▶ステージ上、出演者同士は身体的距離の確保に努めます。また、身体的な接触は控えます。
- ▶マイクは、使用の前後に手洗いや手指消毒を行うとともに、マイクカバーの使用ならびに消毒を必ず行います。マイクを使い回す場合は使用ごとにマイクカバーの交換・消毒をおこないます。

- ▶ステージの周辺は飛沫感染のおそれがあるため、ステージ周辺で作業を行う芸祭関係者は、作業の後に手洗いや手指消毒を行うとともに、ステージ機器の消毒を徹底して行います。
- ▶観客をステージ上にあげるなどの参加型演出は行いません。また、出演者と観客との接触ならびに観客同士の接触（ハイタッチ、手をつなぐなど）を招く演出は行いません。
- ▶出演者が客席エリア内を移動するような演出は行いません。
- ▶観客に歌わせる、コール&レスポンスを要請するような演出は避けます。

<音楽の使用について>

Youtubeでの公開を前提とした使用音源については、Youtubeオーディオライブラリ内の音楽を使用することとします。他者が作った音楽（音源）を使用する上で必要な制約を守りながら、様々な作品をクリエイトします。

演劇についても使用する効果音楽や効果音について、Youtubeへの公開にあたって音源使用と著作物使用が許可されている音源かどうか（ただ「著作権フリー」と書かれて公開・発売されている音源であってもYoutubeへの公開をする場合は別途許諾が必要であったり、権利表示をしなければならないものがあります）確認が必要ですので、芸術祭で音楽を使用する団体はYoutubeオーディオライブラリから選ぶか、自分でオリジナル音源（カバーOK）や効果音を制作する、または許諾が確認されたものを使用することとし、発表前にMIICA内でのチェックを受けることとします。

・ Youtubeオーディオライブラリについて

<https://support.google.com/youtube/answer/3376882?hl=ja>

<映像の使用について>

▶映像についても上記の音楽同様、Youtubeでの公開を前提とした場合、他者の作品を流用していないか、あるいは自己で撮影したものであっても他社の権利（肖像権、商標権など）を侵害していないかなどの注意が必要になります。発表前にMIICA内でのチェックを必ず受けるものとします。

<ヘアメイクと衣裳>

- ▶出演者及びヘアメイクスタッフは、ヘアメイクの前後に手洗いや手指消毒を行うものとし、身体的距離をとるものとします。また、ヘアメイク用具を他の出演者に再利用しないものとします。
- ▶ヘアメイクスタッフは、マスクやフェイスシールドを着用するものとします。
- ▶衣裳の着脱の前後に、出演者と衣裳スタッフは手洗いや手指消毒を行うものとします。

<作品の展示と鑑賞>

▶写真、絵画、動画、文章などの作品展示については、鑑賞者が鑑賞するのに必要な滞在時間をあらかじめ考慮し、鑑賞者が密集・密接にならないような展示方法と方策を講じます。

<トイレ>

- ▶ペーパータオルを使用するか、個人でハンカチ、タオルを準備します。ハンドドライヤーは使用しません。
- ▶トイレ後は必ず石鹸で手を洗い、手指消毒を行います。
- ▶会場の使用後、芸祭関係者は床、便器、ドアノブ等を消毒します。

<清掃・ゴミの廃棄>

- ▶清掃やゴミの廃棄を行う者は、マスクや手袋の着用を徹底します。
- ▶作業を終えた後は、手洗い・手指消毒を行います。

以上、「秋の芸術祭2020における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」に基づき、MIICA生が発揮する「表現力」と同時に「安心感」「納得感」をご来場者の皆さまに感じていただき、円滑な芸術祭運営を行ってまいります。

以上